【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成18年11月9日(2006.11.9)

【公表番号】特表2006-500127(P2006-500127A)
【公表日】平成18年1月5日(2006.1.5)
【年通号数】公開・登録公報2006-001
【出願番号】特願2004-538746(P2004-538746)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｍ　15/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　 9/12　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｍ　15/00　　Ｚ
Ａ６１Ｌ　 9/12

【手続補正書】
【提出日】平成18年9月22日(2006.9.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
芳香剤を放出するための装置（１００）の芳香カートリッジ（１）であって、該芳香カートリッジ（１）は芳香媒体（４）を受け入れるための少なくとも１つの空洞（３）を有する少なくとも１つの容器を備え、該空洞（３）は少なくとも１つの開口部（５）を有し、該開口部（５）はドージング装置（７）によって封止され、該ドージング装置（７）はプランジャ（８）を備え、該プランジャ（８）は該開口部（５）を介して２つの限界位置（Ａ，Ｂ）に変位可能であり、該プランジャ（８）が第１限界位置（Ａ）に位置するときは、少なくとも部分的に容器（２）の中の含浸位置（Ａ）に位置し、該プランジャ（８）が第２限界位置（Ｂ）に位置するときは、少なくとも部分的に容器（２）の外側の芳香放出位置（Ｂ）にある芳香カートリッジ（１）。
【請求項２】
前記プランジャ（８）には少なくとも１つのシール（１１，１２）が設けられていることを特徴とする請求項１に記載の芳香カートリッジ。
【請求項３】
前記プランジャ（８）には２つのシール（１１，１２）が設けられていることを特徴とする請求項１又は２に記載の芳香カートリッジ。
【請求項４】
前記第１シール（１１）は、前記プランジャ（８）が含浸位置（Ａ）にあるとき、前記空洞（３）を周囲（６）に対して封止し、前記第２シール（１２）は、前記プランジャ（８）が芳香放出位置（Ｂ）にあるとき、前記空洞（３）を周囲に対して封止することを特徴とする請求項１ないし３のいずれかに記載の芳香カートリッジ。
【請求項５】
前記第１シール（１１）が外側から空洞（３）を封止し、前記第２シールが内側から空洞（３）を封止することを特徴とする請求項１ないし４のいずれかに記載の芳香カートリッジ。
【請求項６】
前記プランジャ（８）が、少なくとも部分的に、芳香媒体（４）を一時的に保持すること

が可能であることを特徴とする請求項１ないし５のいずれかに記載の芳香カートリッジ。
【請求項７】
前記プランジャ（８）が部分的に前記芳香媒体（４）を蓄積するのに適した材料（２１）を含むことを特徴とする請求項１ないし６のいずれかに記載の芳香カートリッジ。
【請求項８】
少なくとも１つのバネ要素（１７）が前記プランジャ（８）を第１限界位置（Ａ）へと押圧することを特徴とする請求項１ないし７のいずれかに記載の芳香カートリッジ。
【請求項９】

前記ドージング装置（７）は前記プランジャ（８）が取付けられる封止キャップ（２５）を備えることを特徴とする請求項１ないし８のいずれかに記載の芳香カートリッジ。
【請求項１０】
前記封止キャップ（２５）が容器（２）に螺合されることを特徴とする請求項１ないし９のいずれかに記載の芳香カートリッジ。
【請求項１１】
前記封止キャップ（２５）は前記プランジャ（８）が案内される少なくとも１つのガイド要素（３９）を有することを特徴とする請求項１ないし１０のいずれかに記載の芳香カートリッジ。
【請求項１２】
前記ガイド要素（３９）は特にレールあるいはバーとして構成されることを特徴とする請求項１ないし１１のいずれかに記載の芳香カートリッジ。
【請求項１３】
前記容器（２）はガラス瓶として構成されることを特徴とする請求項１ないし１２のいずれかに記載の芳香カートリッジ。
【請求項１４】
芳香カートリッジ（１）は、特に容器（２）および／あるいはドージング装置（７）に、少なくとも１つの凸部（３８，５３）および／あるいは凹部を有することを特徴とする請求項１ないし１３のいずれかに記載の芳香カートリッジ。
【請求項１５】
前記プランジャ（８）は少なくとも２部のプランジャ（４４，４５）から構成されていることを特徴とする請求項１ないし１４のいずれかに記載の芳香カートリッジ。
【請求項１６】
前記シール（１１，１２）は封止ディスク（１３）として構成されていることを特徴とする請求項１ないし１５のいずれかに記載の芳香カートリッジ。
【請求項１７】
前記シール（１１，１２）はプランジャリングシール（２８）として構成されていることを特徴とする請求項１ないし１６のいずれかに記載の芳香カートリッジ。
【請求項１８】
前記シール（１１，１２）はグランド形に構成されていることを特徴とする請求項１ないし１７のいずれかに記載の芳香カートリッジ。
【請求項１９】
前記プランジャ（８）は少なくとも１つの押え（１４，１５）を有することを特徴とする請求項１ないし１８のいずれかに記載の芳香カートリッジ。
【請求項２０】
芳香カートリッジ（１）、特に前述の請求項のいずれかに記載の芳香カートリッジを有し、芳香剤を放出するための装置（１００）であって、該装置（１００）は該芳香カートリッジ（１）を解放可能に固定するためのホルダ（１１１）を有し、芳香カートリッジ（１）のプランジャ（８）が、該装置（１００）の第１制御手段（Ｓ1；１０１；１３４；１５８）により限界位置（Ａ、Ｂ）に移動が可能であることを特徴とする装置。
【請求項２１】

前記芳香カートリッジ（１）は第２制御手段（Ｓ2；１０３；１１１，１２９；１６１）によって回転し、含浸することが可能であることを特徴とする請求項２０に記載の装置。
【請求項２２】
前記第１制御手段（Ｓ1；１０１；１３４；１５８）および／あるいは第２制御手段（Ｓ2；１０３；１１１，１２９；１６１）は第３制御手段（Ｓ3；１３２；１３３，１３４，１３６，１３９，１４３，１４４，１５０；１６０）により制御されることを特徴とする請求項２０又は２１に記載の装置。
【請求項２３】
前記第１および／あるいは第２および／あるいは第３制御手段（Ｓ1；Ｓ2；Ｓ3）は機械制御手段（１０１；１０３；１１１，１２９；１３２；１３４；１３３，１３４，１３６，１３９，１４３，１４４，１５０）および／あるいは電気機械制御手段（１５８；１６３）および／あるいは電子制御手段（１６０）として構成されていることを特徴とする請求項２０ないし２２のいずれかに記載の装置。
【請求項２４】
前記第１および／あるいは第２および／あるいは第３制御手段（Ｓ1；Ｓ2；Ｓ3）は、電子調整システムによって調整される、あるいは該制御手段に電子調整システム（１２５，１２６）が設けられていることを特徴とする請求項２０ないし２３のいずれかに記載の装置。
【請求項２５】
前記調整システム（１２５，１２６）に少なくとも１つのセンサが設けられていることを特徴とする請求項２０ないし２４のいずれかに記載の装置。
【請求項２６】
装置（１００）が少なくとも１つのファン（１０４）を有し、該ファン（１０４）により、プランジャ（８）あるいは含浸体（２１）は芳香放出位置（Ｂ）において空気流（１１０）にさらされることが可能であることを特徴とする請求項２０ないし２５のいずれかに記載の装置。
【請求項２７】
前記ファン（１０４）の動力あるいは空気流（１１０）は調整可能であることを特徴とする請求項２０ないし２６のいずれかに記載の装置。
【請求項２８】
芳香剤を放出するための装置（１００）を制御あるいは調整するための方法であって、該方法は、
芳香カートリッジ（１）を直立基本位置（Ｇ）から約９０°～１８０°回転させ、プランジャ（８）が第１限界位置（Ａ）に位置する充填位置（Ｔ）まで回転させるステップと、
充填位置（Ｔ）を保持し、液体を吸収可能な材料（２１）の含浸を行うステップと、
芳香カートリッジ（１）を回転させ、基本位置（Ｇ）に戻すステップと、
プランジャ（８）を第２限界位置（Ｂ）まで上昇させるステップと、
空気流をプランジャ（８）に当て、芳香剤を放出させるステップと、
プランジャ（８）を移動させ、第１限界位置（Ａ）に戻すステップと
を備えることを特徴とする方法。
【請求項２９】
芳香剤を放出するための装置（１００）を制御あるいは調整するための方法であって、該方法は、
プランジャ（８）を第１限界位置（Ａ）から第２限界位置（Ｂ）へと上昇させるステップと、
空気流をプランジャ（８）に当て、芳香剤を放出させるステップと、
プランジャ（８）を移動させ、第１限界位置（Ａ）へ戻すステップと
を備えることを特徴とする方法。